

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003年6月10日

### 2003年6月8日現在：

気温が急激に上昇し、ウイラメット盆地及び州東部では平均気温が平年を8～11度上回った（Grand Pass：最高気温102度F）。降水は部分的にしか無く1週間の州平均農作業稼働日数は6.9日（前週6.0日）であった。土壌水分は前週に引き続き低下した。

Sherman 郡、Morrow 郡では降雨が全く無い状態で高温に遭遇し、特に土壌の浅い地区の小麦に水分不足の症状が現れた。Wasco 郡では気温が急激に上昇したことより、冬小麦の出穂が早まった。全州に於いて75%の冬小麦が出穂した（昨年同期：76%、平年：73%）。冬小麦の作柄は2週連続で評価が落ちたが、昨年より良い状態と報告された。単位収量の大幅増が期待されているが、今後も高温・乾燥が続くと単位収量を下げる結果となる。

春小麦の播種作業は6月1日までに全州にて完了し、6月8日現在97%の圃場が出芽した。正常な栄養成長の為に纏まった降水が必要である。

### 土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	12	33	54	1
Subsoil (%)	17	25	57	1

### 小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr Average
Spring wheat Emerged (%)	97	93	NA	NA
Winter wheat Headed (%)	75	48	76	73

### 小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	5	18	45	30	2

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2003年6月1日付け農務省の冬小麦生産量予想によれば、単位収量は53.0 bushels/acre（昨年実績：32.0 bushels）、予想収穫面積：940,000 acres（昨年実績：710,000 acres）、予想生産量は49,820,000 bushels（昨年実績：29,110,000 bushels）である。

当該作柄レポートに関するご質問・ご意見は下記宛てにお願い申し上げます。

小川正晃：E-Mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)

以上